



温度測定値を デジタル化

ハイジエニックアプリケーション用温度センサ変換プラグ

- 高精度な温度制御を可能にする0.01Kの精密な分解能
- アナログ出力・スイッチング出力に加えIO-Link通信に対応
- ハイジエニック用ステンレスボディとステータス表示LED
- 幅広い用途に対応: 測定温度範囲 -100~600 °C



IP69K

IO-Link

ifm – close to you!

測定範囲	工場出荷時設定	製品コード
M12コネクタ・アナログ出力4～20 mA スイッチング出力・IO-Link 1.1		
-100～600 °C	-100～600 °C	TP2009
-100～300 °C	-50～300 °C	TP2008
-100～300 °C	-50～150 °C	TP2005
-100～300 °C	-10～150 °C	TP2001
-100～300 °C	0～100 °C	TP2007
-148～572 °F	0～300 °F	TP2003
M12コネクタ・アナログ出力0～10 V スイッチング出力・IO-Link 1.1		
-100～300 °C	0～100 °C	TP2017

上記変換プラグに最適なハイジェニックアプリケーション用プローブ温度センサは弊社Webサイトifm.comをご覧ください。

測定した温度を変換&デジタル伝送:

温度センサ変換プラグは、温度センサのプローブが検出した温度の抵抗値を、標準アナログ信号とスイッチング信号に変換します。また、IO-Linkによるデジタル伝送も可能で、ロスなく測定値を変換します。つまり、既存設備をレトロフィットによりデジタル化した場合に、温度センサ変換プラグが重要な機能を実現します。

幅広い用途に対応

トランスミッタに4線式測温抵抗体(Pt100/Pt1000)が直接接続でき、検出した温度を伝送します。測定部は、プローブによるねじ接続の他、ケーブルを使って接続することも可能です。小形ボディの温度センサ変換プラグは、測定プローブから離して取付けられるため、過酷な環境下の使用に適しています。

プラグ&プレイ式

温度センサ変換プラグは、接続した温度センサを自動的に認識します。工場出荷時に測定範囲をスケールリングしており、アプリケーションに一致する場合は設定の必要がありません。また、変更したい場合もIO-Linkにより簡単にスケールリングを調整できます。

取付時の工数とミスを低減

標準M12コネクタを2点接続で取付けられるTP温度センサ変換プラグは、DINレールに接続アンプを取付ける一般的な温度トランスミッタに比べて取付が簡単です。そのため、配線作業等によるミスの心配がありません。

様々なアプリケーションに合わせて使える

変換プラグを接続することにより温度測定範囲が調整でき、アプリケーションに合わせて高い精度が安定して得られます。このTP変換プラグの幅広い設定から、使用するシステムに合わせた最適な使い方ができます。

共通技術データ		
使用周囲温度	[°C]	-25～80
分解能	[K]	0.01 (TP2009: 0.1)
IO-Link表示	[K]	±0.1
アナログ出力精度		±0.1K スケールリング測定スパンの ±0.1%
温度ドリフト (スパン誤差 % / 10 K)		< 0.1
4線式測定素子		測温抵抗体Pt100および Pt1000
保護構造		IP69K

BEST FRIENDS

製品改良のため、記載事項を予告なしに変更する場合があります。・11.2023
ifm electronic gmbh · Friedrichstr. 1 · 45128 Essen



moneo|configure free
IO-Linkネットワークのパラメータを設定できるソフトウェア



IO-Linkマスタ
ハイジェニック用フィールドバス通信対応マスタ



IO-Linkインターフェース
PCからIO-Linkデバイスのパラメータを設定



詳細情報はこちら:
ifm.com/fs/TP2009